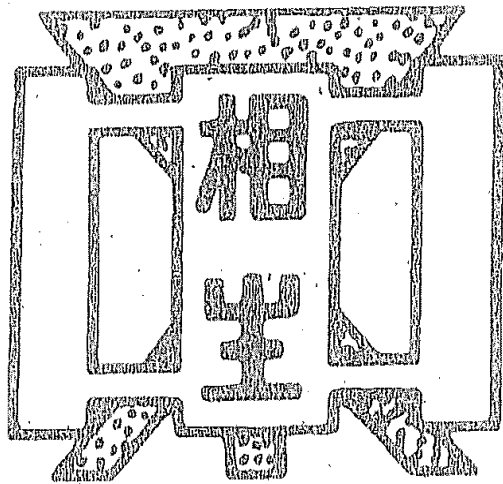


令和 8 年度

「運営に関する計画」



大阪市立相生中学校

令和 8 年 4 月

現状と課題

「自学」（学力向上）「自立」（授業規律）「思いやり」（徳育）を３つの柱として、「安心・安全な学校づくり」と「学力向上」を重点目標にしながら全教職員が生徒とともに取り組んできた。現在、落ち着いた環境で、日々の学習、各活動に取り組むことができている。日ごろの指導や迅速な対応により解決を図りながら、よりよい人間関係を築くべく、学級・学年等の各集団において仲間づくりを第一としている。不登校については、オンラインの活用や関係諸機関との連携、別室での個別指導等の柔軟な対応が適切に行われ、改善の傾向が見られる。しかしながら、一部に複雑な家庭環境に起因するものがあり、今後も継続的にスクールカウンセラーや区役所子育て支援担当、こども相談センター等と連携していく必要がある。

学力面において、各学年ともチャレンジテストの全教科平均では大阪府、大阪市を上回っているが、下回る教科もある。そのため、教科ごとに結果を分析し、改善できるよう「ティーチング・エンパワーメント事業」と「校内授業研究」および「授業アンケート」を連動させ、全教員の授業力向上および生徒の学力向上に取り組んでいく。

ICT 機器は使用頻度が増加しているものの活用率が 80%に満たない日が多く、活用方法の工夫と意識の向上が必要である。

環境面では、教職員のワークライフバランスと ICT 機器の使用頻度の増加と効果的活用方法の工夫を図る。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和 11 年度の年度目標アンケートにおける「困りごとや不安がある時に先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 90%以上にする。
- 令和 11 年度の不登校生徒の在籍比率を 5 %以下にする。
- 令和 11 年度の年度目標アンケートにおける「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和 11 年度の全国学力・学習状況調査における国語・数学の平均正答率の対全国比を 1.00 以上にする。
- 令和 11 年度の中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- 令和 11 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を 1.00 以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 年度目標アンケートにおける「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 90%以上にする。
- 令和 11 年度の教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を月 30 時間以下とする。
- 令和 11 年度の年度目標アンケートにおける「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 70%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 年度目標アンケートにおける「困りごとや不安がある時に先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度目標アンケートにおける「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 70%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 中学生チャレンジテストにおける、国語の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.02 ポイント向上させる。
- 中学生チャレンジテストにおける、数学の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.02 ポイント向上させる。
- 全国体力・運動能力、運動習慣調査における体力合計点の対全国比を男女ともに前年度より 0.01 ポイント向上させる。

【学びを支える教育環境の充実】

- 年度目標アンケートにおける「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上にする。
- 時間外勤務時間について、月 100 時間以上実施する教員をゼロにする。

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式2)

大阪市立相生中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 ○年度目標アンケートにおける「困りごとや不安がある時に先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。 ○年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。 ○年度目標アンケートにおける「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を70%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 ・すべての生徒が、困りごとや不安、悩みを相談できるように「教育相談」期間を設定しするとともに、スクールカウンセラーを含めた全教職員が一人ひとりの生徒にカウンセリングマインドを持って日々の生徒指導にあたる。 ----- 指標 ・「教育相談」を毎学期実施する。	
取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 ・生徒会、風紀委員会を中心にした「あいさつ週間」を計画的に実施し、登校時のあいさつをはじめ、日々主体的なあいさつができる生徒を育成する。 ・全校集会、学年集会や学校行事、毎時間の授業を通じて規範意識の向上やルール・マナーを守る態度を養う。 ----- 指標 ・「あいさつ週間」を毎月実施する。 ・全校集会、学年集会等、あらゆる機会を通じて規範意識を高める。	
取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】 ・「いのちの学習」、「芸術鑑賞」を行い、生徒一人ひとりの豊かな感性を育む。 ・計画的に人権を基盤においた体験活動や学習活動を行い、自他を尊重し、思いやる心を育てるとともに、お互いの違いを認めて尊重しあえる集団づくりをすすめる。 ----- 指標 ・芸術鑑賞会の実施 ・外部講師を招聘し、各学年「性教育」や「在日外国人教育」等を実施する。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式2)

大阪市立相生中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 ○中学生チャレンジテストにおける、国語の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.02 ポイント向上させる。 ○中学生チャレンジテストにおける、数学の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.02 ポイント向上させる。 ○全国体力・運動能力、運動習慣調査における体力合計点の対全国比を男女ともに前年度より 0.01 ポイント向上させる。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ・全教員による研究授業を行い、グループに分かれて相互授業参観・研究協議を行う。 ・ICT 機器を活用し、生徒の学習意欲の向上を図る。	
指標 ・全教員が1回以上の研究授業を行う。 ・ICT アシスタントと連携し、「わかりやすい授業」づくりを進める。	
取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ・コミュニケーション活動を取り入れた授業を実施する。また、言語力の育成に向け、「学び合い」の授業を増やす。 ・生徒が利用しやすい図書室の環境整備をすすめ、読書習慣の定着を図る。	
指標 ・学校図書館の毎日の開館 ・学校元気アップ事業と連携して図書館利用の活性化を図り、来館者数および貸出図書数の増加をめざす。	
取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】 ・規則正しい生活が大切であることを自覚するとともに、自ら心身の健康を考えることができるような意識の醸成を図る。	
指標 ・全教科を通じて、教科横断的に「食育」、「健康教育」を進める。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式 2)

大阪市立相生中学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】 ○年度目標アンケートにおける「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上にする。 ○時間外勤務時間について、月 100 時間以上実施する教員をゼロにする。 ○年度目標アンケートにおける「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 60%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進 捗 状況
取組内容①【基本的な方向 6 教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】 ・授業やその他の活動で積極的に ICT の活用を図る。	
指標 ・学習者用端末を生徒に毎日 1 回以上は活用できるよう取り組む。 ・「学習者端末」の利用率を各月確認し、利用率を高める。	
取組内容②【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ・「プレイヤーズファースト」に基づいた部活動を進める。	
指標 ・時間外勤務について、月 100 時間以上実施する教員をゼロにする。 ・学校閉庁日を年間 7 日以上設定し、教員の年次休暇取得しやすい環境を構築する。	
取組内容③【基本的な方向 8 生涯学習の支援】 ・読書週間の定着を図るよう、学校司書と連携して読書に親しみやすい環境づくりを進める。 ・全教科を通じて教科横断的に「総合的読解力」の育成を図る。	
指標 ・図書の資料を利用した授業を全学年で実施する。資料等を活用し、自分の思考をまとめ、表現する方法を身につけさせる。また、ビブリオバトル大会の実施や本の紹介文を書くなどの取り組みを行い、読書活動の推進を図る。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式3)

令和8年度 学校関係者評価報告書

大阪市立相生中学校 学校協議会

1 総括についての評価

--

2 年度目標ごとの評価

年度目標：
年度目標：

3 今後の学校園の運営についての意見